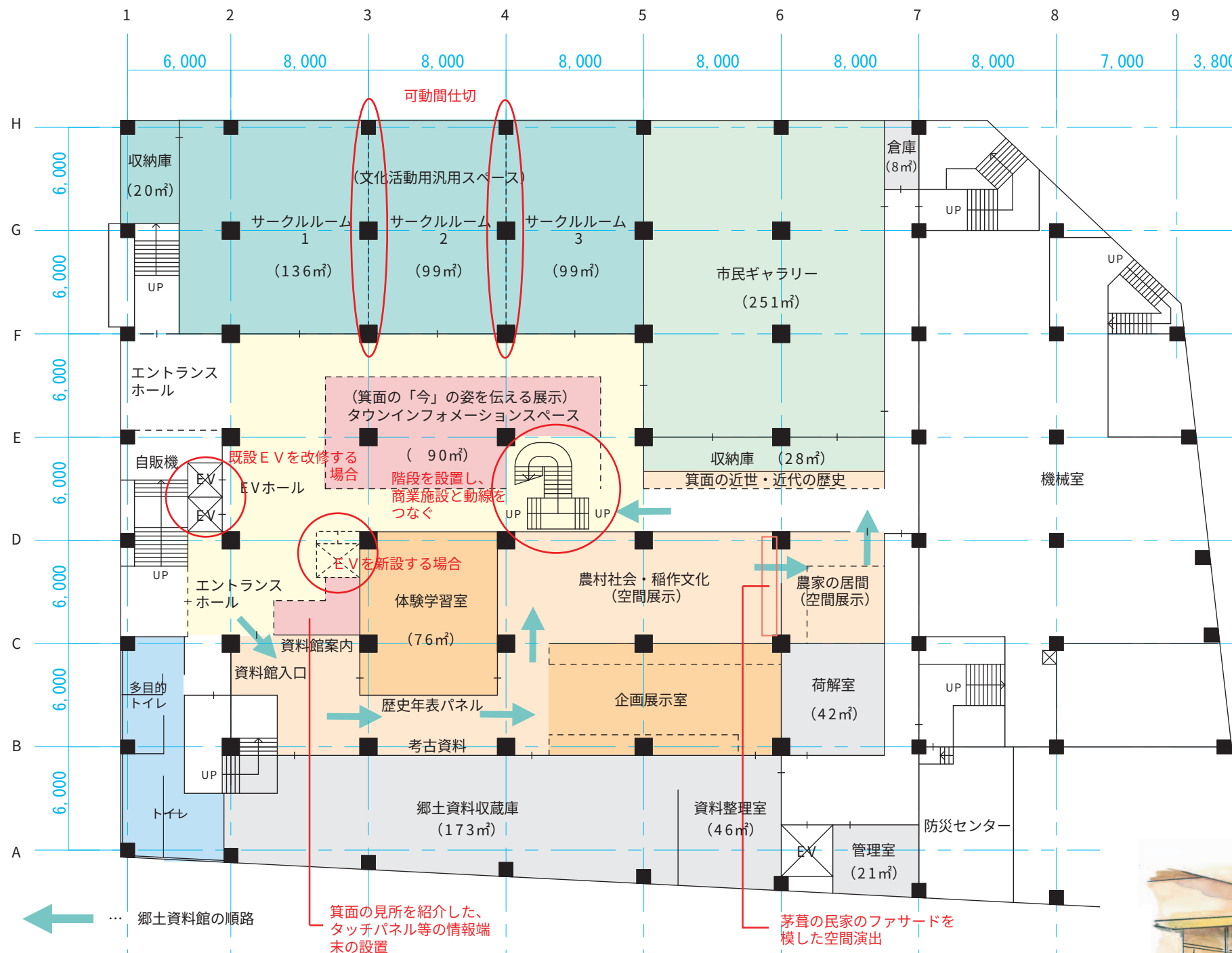


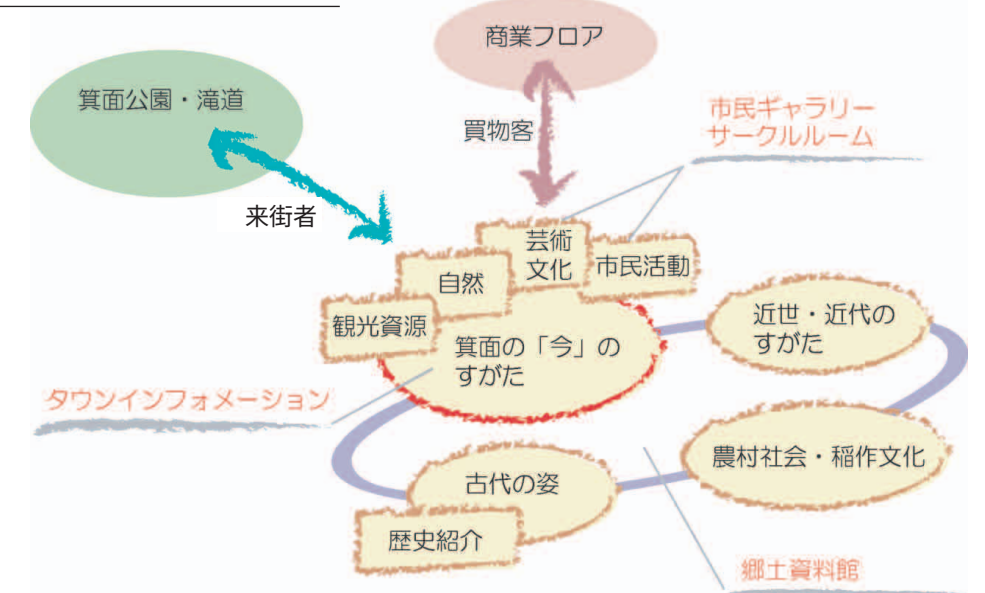
郷土資料館をみのおサンプラザに移設する案（第1案）のB1階施設イメージ

(1:300)

平成17年4月22日
第4回検討懇話会
資料-4



◎レイアウトのコンセプト



・来街者用の情報案内と市民ギャラリー、サークルルーム、郷土資料館が連続する配置構成をとることで、地下1階全体を、箕面のまちや市民の「今」のすがたを含む、過去から現在に至る「郷土のすがた」を集約した「まちの顔となるフロア」として、機能充実を図る。

◎郷土資料館

- ・常設展示では、展示物に近世、近代化などの要素を加味して、一連の郷土の歴史の流れが分かる順路・空間展示を検討する。
- ・常設展示はあくまでダイジェスト形式での紹介であり、企画展示ではより専門的に、実物資料の展示にあわせて、そこから学習できる知識、情報の充実を図る。

◎サークルルーム

- ・文化活動の場としての機能に加え、郷土資料館の講座・イベントでの使用や、フリーマーケット、物産展など、幅広く地域活性化に資する催しの会場としての活用を検討する。
(箕面の「今」の姿を伝える空間の一部として機能させる)

◎バリアフリー対応

トイレの改修

- ・多目的トイレの完備。
- ・多数の来客の滞在に対応する規模の確保。

E Vの改修

- ・車イスでの乗降に対応し、地下1階まで下ろすことで、バリアフリーの動線を確保する。

表示・展示物の情報伝達方法

- ・点字・音声による説明、外国語に対応するなど、誰もが利用できる方法を検討する。

◎タウンインフォメーションスペース

目的

- ・箕面の観光資源やまちの紹介スペースの設置による、箕面駅前の情報発信機能及び、施設の集客性の向上。

機能

- ・ビジュアライズセンター的展示機能を併せ持ったレストスペース。
- ・郷土資料館と連動して、箕面の自然・歴史・文化等の知識を音や映像で紹介。(観光案内所、名産品アンテナショップとの差別化を図る)

【デジタル情報提供サービスの充実】 ↓

- 例・ホットスポット(無線LANを介してインターネットに接続できるサービス)の設置。
- ・マルチモニター、大型液晶モニター等による音と映像の発信。
- ・体験型展示機能の設置。
(単に展示物を眺めるのではなく、タッチパネル、マウス等を用い、知りたい情報を楽しみながら能動的に得られる工夫)



・タウンインフォメーションスペースのイメージ